

2026

7.22 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆発表者紹介

12:15-12:40

◆プレゼン

12:40-12:50

◆質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_pyCZ5EFsQqW_UPEHTEDoTA

【技術支援】九州大学 Q-AOS

物語られた深海 (ザ・ストーリーード・ディープ)

— 海洋惑星における3つの島嶼世界 —



Key Words

海洋

ブルー・ヒューマニティーズ (海の世界人文学)

深海探掘

多金属結核

神話

生態学

マルチスピーシーズ民族誌

ブルックス ブリトン エリオット 准教授

九州大学 言語文化研究院 国際文化共生学部門

ブリットン・エリオット・ブルックスは、著述家、講演家であり、九州大学の准教授を務めている。オックスフォード大学にて中世英文学の博士号 (DPhil) を取得した。専門は初期中世英文学、環境人文学、およびブルー・ヒューマニティーズ (海洋人文学) である。現在、日本学術振興会 (JSPS) の助成を受けた5年間の研究プロジェクト「Knowing Oceans: The Early Medieval English North Sea」に従事しており、初期中世期 (約500～1200年) のブリテン諸島における人々と北海との関わりを研究している。

本発表は、現在準備中のマルチメディア公共人文学プロジェクト「The Storied Deep: Three Island Worlds」の一環として位置づけられる。同プロジェクトでは、日本、ハワイ、英国・アイルランドという三つの島嶼世界を対象に、その過去・現在・未来の視点から、深海が人類にいかに関与を及ぼし、また人類が深海にいかに関与しているのかを探究する。

深海は、地球上で最大でありながら、最も未開拓のバイオーム (生物群系) である。人類の歴史の大半において、そこは私たちの想像力の中だけに存在する不可侵の領域であった。しかし今日、深海は環境、文化、経済、そして政治の未来における最前線となっている。それにもかかわらず、私たちの多くにとって、そこは生涯直接接触することのできない場所であり続けている。深海とは、私たちが紡ぎ出す物語 (ナラティブ) を通じてのみ知ることのできる、地球を巡る「物語られた環境 (storied environment)」なのだ。

本講演では、現代の議論、政策、そして国家間の合意の多くが、いかに深海をめぐる物語に依拠しているかを検証する。そのアプローチとして、日本、ハワイ、ブリテン諸島という3つの「島嶼世界 (island worlds)」における深海のナラティブを考察する。これら3つの群島は、いずれも周囲の海と深く絡み合った歴史を共有していながらも、それぞれが深海に対して語ってきた、そして現在も語りつつある物語は、驚くほど異なっている。